


クラス番号	635	担当教員名	羅 佳 (らか、または LUO Jia)
テーマ	高齢期を支える地域包括ケアシステム		
著書・論文 研究課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>「中国都市部社区に配置されているソーシャルワーカーの現状と課題—北京市での現地調査を通じて」『中部社会福祉学研究』日本社会福祉学会中部部会、第4号、51-63、2013.3</li> <li>「中国都市部社区の就労支援を通じたコミュニティワーク—現地調査の事例に基づいて」『第21回アジア・太平洋ソーシャルワーク会議論文集』312-321、2012.2</li> <li>「中国都市部の社区サービスの推進における行政・NPO・住民組織の協力的仕組み」『中部社会福祉学研究』日本社会福祉学会中部部会、第2号、1-14、2011.3</li> <li>「中国都市部における社区サービスの現状と課題」『中部社会福祉学研究』日本社会福祉学会中部部会、創刊号、29-38、2010.3</li> </ul>		
<b>ゼミナール概要</b>			
キーワード：コミュニティ・ソーシャルワーク 高齢期生活 地域包括ケアシステム フィールドワーク			
<p><b>1) 目的、内容、方法等</b>        高齢になって介護が必要になっても、自宅で介護を受けながらこれまでの生活を継続していきたいというニーズへ応えるために、地域包括ケアシステムをどのように構築していくかについて考えています。そこで、自宅で暮らしている高齢者像、高齢期になった時の生活実態や生活問題、家族、地域社会、コミュニティ・ソーシャルワーカーの果たす役割等に対する理解を深める必要があります。また、今日の日本における高齢期生活を支える制度・政策の仕組み等を把握する必要があります。それらを達成するために、ゼミでは、大学の学習環境の活用とフィールドワークを通じて取り組んでいきます。</p>			
<p><b>2) 授業計画</b>        ①3年次の前半には、自分の関心のもとに収集した文献を読み、読書ノートを作成し、それをもとに、ゼミで報告をし、討議することを繰り返します。また、課題図書について小グループでの読み合わせ、レジュメを作成し、報告をします。        ②3年次の後半には、研究テーマ【案】を作成し、どのような方法で取り組んでいくかを検討します。        ③4年次の前半には、研究テーマを定め、卒業論文を執筆します。卒業論文の提出後、社会福祉士国家試験に向けて共同で学習します。        ※3年次ではグループ学習が中心となります。        ※3年次後半から4年次において卒業論文を作成します。</p>			
<p><b>3) フィールドワーク</b>        地域福祉計画の策定と推進に関わっている愛知県岩倉市において、ふれあい・いきいきサロンの方々との交流活動等を通じて、地域の中で暮らしている高齢者の方々とお会いして会話を展開し、レクリエーション活動等とおして高齢者の地域生活と課題に対する理解を深めていきます。        また、ゼミの目的を達成するために、上記以外のフィールドワークを自主的に計画することも可能です。</p>			
<p><b>4) 留意事項</b>        フィールドワークはゼミの一部となりますので、基本的に全員で参加していただきますのでご了承ください。</p>			
<b>担当教員からのメッセージ</b>			
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 3; padding-left: 10px;"> <p>大学の講義で勉強した（している）知識をベースにしなが、問いを立てて調べていき、そしてまとめていくことを常に心がけることが大事だと思います。</p> <p>ゼミの無断欠席は認めません。自己管理をきちんとしてください。</p> <p>みなさんにとって楽しくかつ有意義な学びをゼミ生同士で形成し、同じ釜の飯を食うことによる共同性を大切にしながら、ともに成長していく時間を共有していきたいと思ひます。</p> </div> </div>			